

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2023年 4月 28日

事業所名:こども発達サポート
運動療育型放課後
デイサービスロジコ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員、活動に応じた活動を行っている。	はい:35名 どちらも言えない:5名 (ご意見) 運動をするには少し狭いかなと感じている。	現状維持。工夫したスペースの活用に努める。
	2 職員の適切な配置	基準人員から加配を行っている。事業所内に職員紹介を掲示している。	はい:35名 どちらも言えない:2名 わからない:2名 (ご意見)	加配体制を維持出来るような配置を継続する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	映像や壁面の掲示など、視覚で理解しやすいツールを使用している。	はい:38名 どちらも言えない:1名 わからない:1名 (意見) 番号に座って待つというのが分かりやすくていいと思う。	より良い環境や設備整備を心掛ける。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	事業所内の日々の清掃、消毒をはじめ、共有部の清掃も日々の業務として行っている。	はい:40人 (意見) とても明るく綺麗なお部屋で楽しい雰囲気が伝わります。	より過ごしやすい生活空間に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼、終礼、ミーティングなどで改善を図っている。		常に最善でいられるように努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		今後の検討課題をする。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入職時の研修と、ミーティングで資質の向上を図っている。		定期的実施し、資質の向上に努める。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ヒアリングやフェイスシートなどの情報、子どもの状態などを分析し計画を作成している。	【1】はい:40名 (意見) 定期的な面談によって子どもに合わせた取り組み活動を行ってくださっています。	常に情報収集し職員間で共有することで計画作成の際に役立てている。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団療育プログラムだが、子どもの状態に応じた計画の作成と家庭で取り組めることの提案をし、またその意図や目的、目標を面談時に説明をしている。	【2】はい:39名 どちらも言えない:1名	常に情報収集し職員間で共有することで子どもの状態を的確にとらえられるよう努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画書のみではなく、なぜそこに至ったかがわかるように、他のシートを活用して記載、説明をしている。	【3】はい:39名 どちらとも言えない:1名	評価シートの改善や日頃の様子を写真等も活用し伝えていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	ミーティングでの支援計画の共有、また都度の情報の共有でより良い支援に努めている。	はい:40名 (意見) 毎週違った運動をしている。	常に子どもの様子を共有し適切な支援に繋がっている。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動内容を6か月のプランで計画し、運動の習得度合いで次のプログラム内容へと繋げている。		職員全員が共通理解を測れるように務める。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	土曜日、祝日、長期休暇時の時間軸ではAM利用、PM利用、1日利用など、ニーズに応じた対応をしている。 また、1日開所の時は午前・午後でプログラム内容を変えている。	はい:38名 わからない:2名 (ご意見)定期的に取り組みが変わっている。 外出活動もあり、1日利用を楽しみにしている。	各曜日の年齢層に合わせた療育内容の実施など現状にとらわれずより良い方法を検討する。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	半年ごとのプログラムの変更、1か月ごとの具体的な種目の変更し、1週ごとに運動遊びの内容を変更し、療育の効果を図っている。		発達度合いに合わせたプログラムを常に考えていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々の朝礼で確認をしている。		より具体的に内容を確認し、適切な配置で行動がとれるよう役割分担を決めている。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々の終礼で情報を共有している。		具体的に共有をすることで、必要な声かけや関わり方を考える。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日報とは別の日々の様子について日報を作成している。また、日々の共有の中で都度検証、改善を図っている。		運動の様子とそれ以外の時間の様子が分かるよう改善していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	規定通りの期間で計画策定しています。	現状維持をしつつ、しかるべきタイミングにおいて面談の機会を設ける。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。	こちらからも連絡させていただき、参加させていただいております。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし。	該当なし。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし。	該当なし。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	送迎時に学校や園での様子を共有している。	より具体的に声掛けの仕方や関わり方など支援の方法についての共有を図る。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし。	該当なし。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	当該機関での研修などは実施していない	専門機関との連携を図り専門知識の向上を図る。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	検討すべきところだが、コロナ禍のため実施には至っていない。	いいえ:6名 わからない:34名 (ご意見) 学校での機会があるから、放デイには必要ないと思う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	検討すべきところだが、コロナ禍のため実施には至っていない。	今後の検討課題とする。地域イベントへの参加を検討中。	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	事業所の資料や重要事項説明書を基に丁寧な説明に努めている。	個別支援計画書やその他のシートを基に丁寧な説明に努めている。	現状維持。今後も丁寧な説明を行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書やその他のシートを基に丁寧な説明に努めている。	はい:40名 (意見) 計画支援を立てて説明をしてもらっている。	現状維持。今後も丁寧な説明を行う。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	必要に応じて、面談時や電話での対応をしているが、ペアレント・トレーニングにおいては十分とは言えない。	はい:14名 どちらとも言えない:9名 いいえ:5名 わからない:12名	ニーズをとらえてそれに適したペアレント・トレーニングの実施を図る。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	情報の共有、共通理解に努めている。可能な限りで情報発信は出来ている。	はい:39名 どちらとも言えない:1名 (意見) 今日どれ位、参加出来たか等毎回伝えて下さいます。	こちらでの様子は発信できているので、保護者様のお困りごとなどのヒアリングも行う。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	都度対応はしているが、機会の確保も含めて十分とは言えない。	はい:40名 (意見) 定期底な面談はもちろん小学校に上がる際に小学校へ引き継ぎに来てもらいました。	相談できる機会を設けていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	行っていないが、2023年5月に開催予定。	はい:10名 どちらとも言えない:4名 いいえ:13 わからない:13 (意見) 保護者と会う機会がない。	年に3回計画している。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書を基に、体制の整備の周知をしている。	はい:25名 どちらとも言えない:3名 わからない:12名 (意見) 以前、他の利用児童に怪我をさせた際にもう少し早く知りたかった。	より丁寧な周知の方法と対応に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	いろいろなツールやアプローチを検討しながら対応している。	はい:40名 (意見) いつもご配慮下さっています。	現状にとらわれず、別のツールの使用も検討する。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎週の活動報告やSNSの配信など積極的に取り組んでいる。	はい:39名 わからない:1名 (意見) 毎週LINEで細かく活動報告があり分かりやすい。	活動内容がより具体的に伝わる内容を心掛ける。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	取扱いに注意して対応している。	はい40名 (意見) 利用時に説明がありご配慮してもらっています。	現状維持。十分に注意しながら取り扱う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については重要事項説明書を基に説明しているが、事業所におけるマニュアルは保護者への周知はできていない。防犯マニュアル、感染症マニュアルは未策定。	はい:31名 わからない:9名 (意見) 利用前に説明がありました。	改めてマニュアルを作成し保護者へ周知する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難具や経路、一時避難場所については職員間で共有している。避難訓練も実施済み。	はい:14名 どちらとも言えない:3名 わからない:23名 (意見) どこに避難するのかなど定期的な説明があります。	様々な災害に備えるべく避難訓練を実施する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止法についての研修を実施。過去に起きたことのある事例を活用し、虐待例も共有済み。		当事業所で起こり得る事象について検討していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なし。		該当なし。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	フェイスシートやヒアリングで情報を共有し適切な対応に努めている。		職員間で徹底し適切な対応をする。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットをはじめ、危険を取り除くことを一番に考え、都度職員間で共有をしているが、事例集は未作成。		事例をもとに記載し共有し再発防止に努める。

